

B767 の思い出 その1 ラストフライト

荒岡 衛

高校の同級生だった M 君は航空大学校へ進み、全日空のパイロットになった。YS11,B727,B747,B767などを操縦して世界中を飛び回り総飛行時間は20051時間になる。私はこれまで2回彼の操縦するフライトに乗ったことがある。最初は1992年7月2日のNH662便、長崎から東京への出張時でB767だった。出発時の機内アナウンスで機長の名字がMだったのでCAに下の名前を聞いたら彼だった。名刺を渡して同級生だったことを伝え、とコックピットに呼ばれ、しばらく談笑した。2回目は2004年12月11日のNH132便、沖縄へ飛行機撮影に行った帰りでB747だった。この時は既に乗客がコックピットへ立ち入ることは禁止されていたので降機後彼が出てくるのを待って言葉を交わした。彼は続けて関空へ飛び、そこで泊まると言っていた。

そんな彼も65歳を迎え、2015年2月10日を最後に引退することになった。前からラストフライトには乗りに行くよと言っていて便を教えてもらおうと東京-岡山の往復、行きがNH653便、帰りはNH656便、機種はB767である。当時別の友人と共に航空雑誌に時々記事を書いていたので、彼の引退記事を載せることにした。それで1便早いNH651便で先乗りして岡山空港に着陸するところを撮影後、ラストフライトに乗せてもらうことにした。

岡山に着きカウンタへ行ったらNH656便の機種がB787に変わっていた。彼からも携帯に電話が入った。NH651便が出発後に機種変更があり、彼の行先は福岡に変わり、ラストはNH252便になったというのである。調べてみるとタクシーや新幹線を乗り継いで福岡空港へ向かえばギリギリ間に合うかもしれない。しかし新幹線が雪で遅れてもフライトは待ってくれない。やむなく折り返しのNH654便で羽田に引き返し、空港で彼の到着を待ち、花束を渡し、写真撮った。これは2015年5月号に掲載された。